



左から安田信彦氏、小林亮介氏、真下会長、松尾康輝氏、菅原敏晃氏、附木貴行氏、森健太郎氏

平成20年9月18日、19日に熊本市国際交流会館で開催されたプラスチックリサイクル化学研究会第7回討論会において、小林亮介氏、菅原敏晃氏、附木貴行氏、松尾康輝氏、森健太郎氏、安田信彦氏の6人の方々がポスター賞を受賞されました。受賞の喜びの声を以下に掲載します。

小林亮介 宇都宮大学

「架橋ポリエチレンの過酸化水素水を用いた脱架橋」

この度はポスター賞という栄えある賞を頂き、指導教官の葭田先生や共同研究として協力してくださった日立電線株式会社の方々に感謝したいと思います。本研究は、架橋ポリエチレンの架橋部位のみを超臨界二酸化炭素中で選択的に可塑化してリサイクルをするということを目的にしたもので、プラスチックやリサイクルを専門とする方々が集まる本研究討論会において評価して頂いたことは、今後の研究の励みになります。今回は本当にありがとうございました。

菅原敏晃 北海道大学

「流動層を用いたポリカーボネートの水蒸気分解」

この度は栄誉あるポスター賞を頂くことができ、大変嬉しく思っております。まず、研究を進めるにあたってご

指導頂いた辻俊郎先生や、本研究に興味を持って頂いた方々に感謝申し上げます。今回はポリカーボネートの水蒸気分解について報告させて頂きましたが、まだまだ不明な点が多いため、プラスチックリサイクルを専門とされている方々からご意見・ご指摘を頂くことができ、大変勉強になりました。今回の受賞を励みに研究に精進してまいりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

附木貴行 九州工業大学

「二軸混練押出機を用いたポリ乳酸汎用樹脂の精密ケミカル/マテリアルリサイクル」

この度は、第11回研究討論会ポスター賞をいただき、誠にありがとうございます。九工大：白井研究室では、ポリ乳酸汎用樹脂系のケミカルリサイクル技術の向上は循環社会の重要なツールと位置づけ、基礎研究から実証試験まで取り組んでいます。今回いただいた評価を糧に、さらなる技術の向上および工夫を続けていきたいと思えます。最後に、御指導下さいました西田教授、白井教授、ならびに協力していただいた研究室の皆様へこころより感謝致します。

松尾康輝 東北大学

「高温高圧水蒸気中での脱水縮合プラスチックのケミカルリサイクル」

この度はポスター賞を受賞させていただき、大変光栄です。私の発表を高く評価してくださった方々、そして貴重なご意見、ご指摘をしてくださった方々に御礼申し上げます。また、学会当日に聞かせていただいた最先端の研究の発表は今後の研究に多に参考にさせていただきます。一層精進し、循環型社会構築の一助となる研究成果を残すよう努めてまいりますので、諸先生、先輩方には今後とも御指導のほどよろしくお願いいたします。

森健太郎 熊本大学

「高圧高温アルコール処理を利用したCFRPからの炭素繊維回収」

この度はポスター賞という大変名誉ある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。発表に関して指導してくださった先生、先輩方に深く感謝いたします。高温・高圧下でのベンジルアルコールを用いたCFRPの分解実験について報告させて頂いたのですが、先生方から多くの貴重なご意見、ご指導を頂くことができ、非常によい経験ができたと思っております。この賞を励みに、今後の研究活動がんばりたいと思えます。

安田信彦 九州工業大学

「ポリ乳酸の紫外線照射による光分解挙動の解析」

今回は、本研究に興味を持って頂いた皆様へ大変感謝致しております。本研究では、ポリ乳酸への紫外線照射により起こる影響を解析してきましたが、これに興味を持って頂けて大変嬉しく思いました。この受賞で、本研究に対する自信とやりがいとさらに一層深まり、今後の活動への糧へととなりました。最後に、本研究にご指導頂いた九州工業大学の白井義人先生、西田治男先生、附木貴行様、そして、御助言を頂いたFSRJの皆様へ感謝致します。